

2019年度「民間育英団体」・「地方公共団体」の奨学金募集一覧（11月20日現在）

（下記各団体からの「募集案内」は、総合研究棟Ⅱ 1階の 学生支援チーム ①番窓口 で見ることができます。）

奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年 (注意:平成31年4月時点の学年)	金額	給付・貸与の別	募集人員 (全国で)	募集要項の <請求先>	申請書類の <提出先>	提出期限
令和2年度 JEES・ソフトバンク AI人材育成奨学金	1)令和2年4月時点で、日本国内の大学(以下「大学」という)の大学院修士課程1年次(区分制及び一貫性博士課程の1年次を含む)に正規生として在籍予定の者。国籍は問わない。(在留資格が「留学生」の場合は、私費留学生であること)大学は寄附者(ソフトバンク株式会社)と協議の上選定した指定校とする。 2)人口知能(AI)分野(情報工学、情報科学、統計学等)の学習・研究に取り組む者。 3)就学の目的又は計画が明確で、支援の効果が期待できる者。 4)品行方正で、学業成績が優秀な者。 5)令和2年4月時点の在籍大学の長の推薦を受けることができる者。 6)日本語で面接を受けることができる者。 7)社会人学生(休職中を含む)でない者。 8)令和2年9月30日時点で28歳未満の者。	不可 (併願は可能だが、採用が決定してからこの奨学金を辞退することはできない)	令和2年4月1日時点で三重大学大学院修士課程の1年次に正規生として在籍予定の者で、人工知能分野(情報工学、情報科学、統計学等)の学習・研究に取り組む者。 ※三重大学以外の大学院への進学が決まっている者は、進学先の大学院からの推薦が必要となるので、進学先の大学院へ問い合わせること。	月額 8万円 加えて一時金として7月に4万円支給	給付	100名 (学内からの推薦枠は2名)	大学 (学生支援チーム①番窓口)	大学 (学生支援チーム①番窓口)	12月11日 (16時厳守)
令和2年度馬場財団 国際理解教育人材養成奨学金	次の各号の全てに該当する者 (1)原則として3ヶ月以上12カ月以内の海外留学を計画し、本奨学金の受給決定以降、令和2年度内に留学を開始する予定の者。 (2)留学開始時において、日本国内の大学(以下、「大学」という。)の学部2年次(1年次修了)以上、又は教職大学院に正規生として在籍する日本人学生。在籍大学は寄附者との協議の上選定した指定校とする。 (3)大学卒業後に初等中等教員となることを目指し、教職課程を履修する者、または教職課程を修了し、免許取得済の者。 (4)本奨学金の支給期間中、海外留学支援を目的とする他の奨学金の支給を受けない者(貸与型(返済が必要なもの)奨学金、学費免除及び一時金は除く)。 (5)留学の目的又は計画が明確で、就学の効果が期待できる者。なお、留学先機関(以下「留学先」という。)での履修科目の1つとして、教育課程論、カリキュラム論を履修することが望ましい。 (6)心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。 (7)在籍大学の長の推薦を受けることができる者。	給付型奨学金は不可。	令和元年度に留学する者のうち、留学開始時点において学部2年次以上の学生。又は教職大学院に正規生として在籍する日本人学生。	(1)月額 10万円 (2)留学準備金 アジア地域 15万円 その他の地域 25万円 留学開始から終了まで(ただし3ヶ月以上12カ月以内とする)	給付	7名程度 (学内からの推薦枠は1名)	大学 (学生支援チーム①番窓口)	大学 (学生支援チーム①番窓口)	12月20日 (16時厳守)
社会福祉法人さぼうと21 2020年度「生活支援プログラム」	(1)日本に住んでいる外国籍または元外国籍の学生(原則aまたはb)で2020年4月に在学中 a)難民(インドシナ難民・条約難民・第三国定住難民)とその子など b)日系定住者(中南米など)または中国帰国者の子など (2)学費の負担が困難な方 (3)就職に関する連続セミナー(年5回程度)に参加可能な方	可	学部生	24万円(月額2万円)	給付	大学生・専門学校生 25名前後	生活支援プログラム	生活支援プログラム	1月10日(金) (応募書類必着)
国際ソロプチミスタアメリカ日本中央リジョン 大学院女子学生奨学金・大学女子学生支援金	(1)日本中央里ジョン区域限界内に在住し、研究、人財共に優秀で修士、博士学位取得を目指している大学院修士課程・大学院博士課程に在籍する女子学生。 (2)返済義務のある奨学金受給者及び予定者の学生は可 (3)過去の選外者の再応募は可(年齢制限はなし)	可 (給付奨学金を除く)	女子学部生 女子大学院生	120万円	給付	1名	大学 (学生支援チーム①番窓口)	大学 (学生支援チーム①番窓口)	12月13日 (16時厳守)
令和元年度「清流の国ぎふ大学生等奨学金」二次募集	①岐阜県内の高等学校等を卒業し、県外に住所を有し、かつ、県外の大学に在学している者 ②大学卒業後、県内で就業する意思があると認められた者 ③学業成績が優秀であると認められた者 ④経済的理由により修学が困難であると認められた者	可	学部生	月額 3万円 (令和元年10月からの貸与)	貸与 返還免除有	40名程度	清流の国ぎふ大学生等奨学金	清流の国ぎふ大学生等奨学金	10月25日～11月22日 (応募書類必着)
令和元年度 山梨県ものづくり人材就業支援事業 (奨学金返還支援事業)	申込日現在に、大学、大学院、高等専門学校のうち、理学部、工学部若しくはこれに準ずる学部、研究科等(以下「大学等」という。)に在学し、次の各号の全てに該当する学生 (1)独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金または第二種奨学金の貸与を受けていること。 (2)令和元年度卒業予定者については令和2年9月末までに、令和2年度卒業予定者については令和3年9月末までに、対象業種企業における、企画・開発、製造部門への就職を希望していること。 (3)令和元年度卒業予定者については令和2年4月初日を、令和2年度卒業予定者については令和3年4月初日を起点とした10年間のうち、8年間以上山梨県内に勤務し、かつ県内に定住する意向があること。	返還支援	現在 大学3年生の者 大学院1年生の者。 (令和元年度中に大学もしくは大学院を卒業又は修了予定の者)	大学等の在学時に、奨学金として貸与を受けた額のうち、卒業前2年間に貸与を受けた額を上限とする	返還支援	令和元年度卒業予定者 20名 令和2年度卒業予定者 35名	大学 (学生支援チーム①番窓口)	山梨県産業労働部ホームページ(リンク)	10月1日～2月28日 (応募書類必着) ※募集定員に達した時点で募集は締切ます。

奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年 (注意:平成31年4月時点の学年)	金額	給付・貸与の別	募集人員 (全国で)	募集要項の <請求先>	申請書類の <提出先>	提出期限
公益財団法人 鹿児島県育英財団	次の①、②のいずれかに該当し、かつ③から⑤までの全てに該当する者 ①鹿児島県内の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)、特別支援学校の高等部、高等専門学校及び専修学校(高等課程)(以下、「高等学校等」という。)を卒業した者。 ②鹿児島県外の高等学校等を卒業した者又は高等学校卒業程度認定試験合格者(県内に生活の本拠を有する者の子等で、県内の中学校を卒業した者に限る。) ③大学又は大学院(以下「大学等」という。)に在学し、令和3年3月(令和2年度中を含む。)に大学等を卒業(修了)予定の者。 ④日本学生支援機構第一種奨学金又は鹿児島県育英財団大学等奨学金の貸与を受けている者又は貸与を受けていた者。 ⑤大学等を卒業(修了)後、県内企業等に就職する意思があり、かつ県内居住を希望する者。 ⑥鹿児島県等が実施する返還免除の制度が設けられている修学資金等を受給していない者 ※大学等入学時に、当財団の大学等入学時奨学金(地方創生枠)の奨学生として採用され、送金を受けた者は申請できない。	返還支援	現在 大学3年生の者 大学院1年生の者。 (令和3年3月<令和2年度中を含む>に大学もしくは大学院を卒業又は修了予定の者)	在学中に借り受けた奨学金の全額 ※ただし、返還期限猶予の適用を受けた場合は、その期間相当の奨学金を除いた額とする。ただし、大学等卒業(修了)後、引き続き上級学校へ進学した期間は支援対象に含める。	返還支援	20人程度	公益財団法人鹿児島県育英財団ホームページ(リンク)	公益財団法人鹿児島県育英財団ホームページ(リンク)	8月1日～ 12月6日 (応募書類必着)
三重県 (奨学金返還支援制度)	以下のすべてに該当する者 1. 申請時に最終学年の1年前の学年以上の在学学生で、就職先が決まっていない者 2. 指定地域への定住を希望する者 ※指定地域は募集要項に記載 3. 常勤雇用または個人事業主として就業する予定の者(ただし公務員は除く。) 4. 日本学生支援機構第一種奨学金又はこれに準ずる奨学金を借り入れ、返還予定の者 5. 平成31年3月31日時点で35歳未満の者	可	学部3年生以上 大学院1年生以上	在学中に 借受予定の奨学金 総額の1/4 (上限100万円)	返還支援	20名	大学 (学生支援チーム) (12/27までに学生支援チームへ推薦書作成を依頼すること)	三重県戦略企画部ホームページ(リンク)	1月17日 (17時) (応募書類必着) ※郵送の場合は配達証明郵便を使用すること
徳島県奨学金返還支援制度	以下の(1)～(4)すべてに該当する者 (1)日本学生支援機構奨学金等(徳島県が認めるもの。)の貸与を「受けている方」又は「受けていた方」(既卒者にあつては返還残額がある方(滞納がある場合を除く)) (2)徳島県内の事業所に正規職員として就業を希望する方(公務員を除く) (3)大学、短大、大学院、高等専門学校、専修学校専門課程(大学等)を規程の「卒業年度」に卒業し規程の「卒業開始期間」内に就業する方 (4)徳島県内に定住することを希望する方	記載なし	令和元年度、令和2年度に卒業する方	①日本学生支援機構無利子奨学金借受総額の1/2(上限100万円) ②日本学生支援機構有利子奨学金借受総額の1/3(上限70万円)	返還支援	150名程度	徳島県政策創造部/県立総合大学校本部	徳島県政策創造部/県立総合大学校本部	8月1日～ 12月20日 (当日消印有効)
(財)交通遺児育英会	保護者等が自動車事故や踏切事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生 ※応募時に25歳以下の者	可	大学院生(在学) 大学院予約(学部最終学年) 学部生	月額 5万, 8万, 10万円 月額 4万, 5万, 6万円	貸与 (無利子)	20名 300名	(財)交通遺児育英会(リンク)	(財)交通遺児育英会 提出期限の1週間前までに大学に推薦書の作成を依頼すること	10月31日 (1次)8月31日 (2次)1月31日 10月31日
みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院	日本全国の医科大学・大学医学部に在籍する医学生	卒業後の進路に指定のある奨学金との重複は不可	医科大学・大学医学部の学部生	月額 10万円 月額 15万円	貸与 (返還免除制度あり)	記載なし	津生協病院ホームページ(リンク)	津生協病院ホームページ(リンク)	随時

は新着情報です。

※ 掲 示 期 限 : 2020年2月28日 (それ以前に内容更新があった場合は、その更新(差替え)時まで)